

令和8年度 現職教育計画

犬山市立犬山中学校

1 はじめに

令和4年12月、中教審より『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～ という答申が出された。この中で、「令和の日本型学校教育」を担う教師及び教職員集団の姿として、以下のように挙げられている。

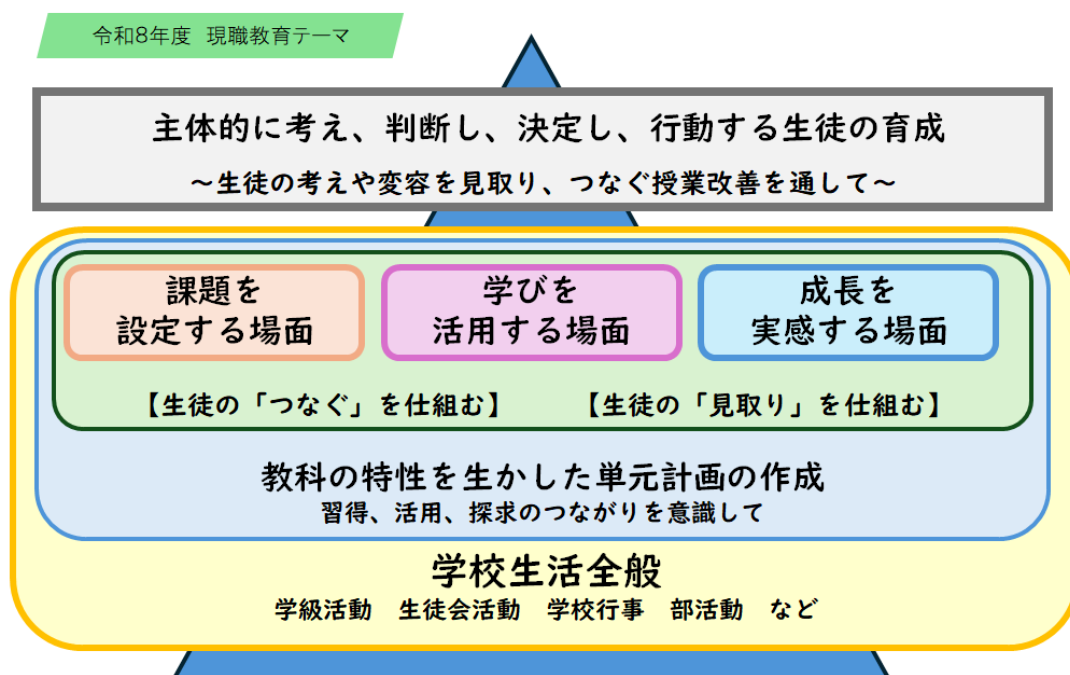
- 「令和の日本型学校教育」を担う教師の姿は、①環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている、②子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている、③子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている。
- 教職員集団の姿は、多様な人材の確保や教師の資質・能力の向上により質の高い教職員集団が実現し、多様なスタッフ等とチームとなり、校長のリーダーシップの下、家庭や地域と連携しつつ学校が運営されている。
- また、教師が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、志望者が増加し、教師自身も志気を高め、誇りを持って働くことができている。

この第1項①を読んで、改めて私たち教員が現状に満足せず授業を改善・改良していくことが第一に大切だと感じた。学習指導要領が変わり、ICTの活用を迫られ、働き方も変わろうとしているが、それらを前向きに捉え、プラスにしようとするのを避けてはいけない。

そして、第2項のように教員でチームとなり、互いに授業を見合ったり、情報を共有し合えたりするよう関係性を築き、資質・能力を向上しあえる集団を目指したい。

本年度の主題は、昨年度と同様に「主体的に考え、判断し、決定し、行動する生徒の育成～生徒の考えや変容を見取り、つなぐ授業改善を通して～」とした。生徒の成長を見取り、つなぐことで学びを支援し、目指す生徒像の実現につとめたい。また、昨年度の現職教育を通して検討した「主体性を育てるために必要な要素」を、「課題を設定する場面」「学びを活用する場面」「成長を実感する場面」の3要素とし、これらを軸に研究を進めることとする。

2 本年度の研究主題と構想図



(1) 教師の「見取り」

生徒の主体的な学びを支援するためには、まず生徒が今何を考え、感じ、求めているのかを把握しなければならぬ。それを出発点とした上で、進み、時には立ち返ることになる。以下はそのための一例である。

- ① 全員参加 … 一部の生徒の挙手発言で授業を進めていると、それ以外の生徒が授業に参加できているか見取ることは難しい。誰一人取りこぼすことなく、生徒が授業に参加する手だてが必要となる。
- ② 全員アウトプット … 全員参加の手だてとして、「アウトプット」を取り入れる。全員に意思表示をする機会を設けることである。この「意思表示」には、選択肢を与えて選ばせる方法も含める。
- ③ 振り返りの共有保存 … 「共有」とは、振り返りを他の生徒とシェアリングすることである。他の生徒の発言などから新しい気付きを得て学びを深められるためである。
「保存」とは、個人の振り返りを継続して残し、長期的な成長を実感できるツールにすることである。

(2) 生徒の「つなぐ」を仕組む … 生徒の「つなぐ」を達成させるため、教師が「つなぐ」手だてを打つ

	生徒の「つなぐ」とは	教師の「つなぐ」とは
仲間	① 仲間との学び合いに意義を感じられる	ために ① 仲間の考えを、自分の考えにつなげられるような手だてをうつこと
教材	② 既習事項や他教科と、本時の学習事項とつなげられる	ために ② 習得・活用の場面を設定する授業構成をすること
自分	③ 次時への見通しをもてる	ために ③ 振り返りなどを用いて自己の学びを次時につなげること

生徒が一時間の学びに「つながり」を感じられることが、塾や家庭学習などではなく「学校で学ぶ」意義に当たると考えている。そしてそのつながりは、他者(教員・仲間)とのつながりであり、時間軸でのつながりであり、自己とのつながりである。

(3) 生徒の「見取り」を仕組む

生徒自らが、考え、判断し、決定し、行動するためには、生徒が自分の到達状況を把握する必要がある。そのために授業ごとに振り返りを行ったり、単元終末時にはそれを見返したりすることで、生徒自身がメタ認知や自己分析ができるような機会を与えていきたい。

- ① 自分の理解度を把握すること … 「自分が、今何ができて、何ができていないのか。」を生徒自身が認識すること
- ② 成長度合いを把握すること … 「でき(るようになった)た!」を実感できること

(4) 振り返り

学習したことを振り返り、自分の学びの質と内容を自覚できるようにすることが大切である。振り返ることで、「私たちは何を学べたのか」「どのように成長したのか」「それでもなお、分からなかったことが何か」などをつかむことができる。以下の3例の振り返りを提案する。

①毎時間の学習問題(課題)への振り返り

多くの場合、授業を通して獲得される概念的な知識や理解状況が表現される。

「なぜ~だろう」⇒「なぜなら~だからであるということが分かった。」

「どのように~しているのだろう」⇒「...のように~していることを知った。」

②毎時間の学び方への振り返り

「今日の話し合いで〇〇さんの~という意見で...ということに気付けた。」

「次は~について、調べてみたい。」

自分の学び方や学んだことの意味の自覚が促される。

③単元の学習問題やテーマへの振り返り

「単元の学習を通して、政治と国民生活の関わりは~」

これまでよりも多面的な視野で、多角的に社会を見つめたり、未来を考えたりする子どもを育てることにつながる。

振り返りの行い方は教科の特性による。自分の姿をタブレットに録画・録音して記録していく教科やスクールライフノート(学びの天気)を用いる教科、単元を通したポートフォリオを用いる教科など、様々である。ただ、生徒が振り返りを行いやすいように、振り返る材料は教師が提示する必要がある。

例①提示した本時の課題を残しておく。

②本時の流れを示す。

③本時の学習内容を板書で示す。等

<p>子どもに振り返りをどう伝えているか</p> <ul style="list-style-type: none">今日の授業でできないことを書いておこう。今日の授業で心が動いたことなら、何でもいいので書いておこう。「難しいなあと思ったけど・・・」「〇さんの考えがよかった」「もっと~をしてみたい」など、今日の授業で、心に浮かんだことを書いておこう。	<p>振り返りのポイントがいい!</p> <p>③まだもやもやしていること、迷っていること はいかがでしょうか?</p> <p>否定的な問いかけだと書きにくいのでは?</p> <p>この部分を活用して次時のめあてにつながったり、支援の観点になったりして授業展開を考える参考にしたい。</p> <p>授業と学び研究所フェロー 柳田裕秋先生(元校長)</p>
--	---

参考資料 R7.1 玉置先生参観デーのプレゼンより

これらは単に授業改善のための手だての一例である。授業改善のために、なによりも教師自身が自分の授業を客観的に「見取る」ことが大切である。自分の授業が生徒の学びにつながっているのか、生徒の姿で評価されているとの意識を常にもち、授業に臨みたい。

3 協議会について

(1) 話し合う視点

「教科部会、学び部会の求める生徒像に迫ることができたか」

「生徒像に迫るための手だては有効であったか」

「他教科にもつながる教師の働きかけ」

(2) 心構え 「授業者よりも参観者の力量が問われる協議会へ」

① 授業者の努力に応える

本気で授業する授業者と、本気でその授業を見る参観者の双方が力を合わせれば、必ず次につながる成果や課題が明らかになる。

② 記録を基に発言する

授業で見いだされる子どもの姿は、偶然現れるものではなく、その背後には、教師の意図による、必然性がある。授業記録をしっかりと取り、子どもの姿で語る。

③ 代案を提示する

協議会は、授業者を批判したり、授業を良い、悪いと判定したりする場所ではない。生徒の事実を基に「私なら～と考えるけど、どうですか」などと代案を示したい。授業者、参観者の授業力向上の場である。

4 現職教育推進委員会について

メンバーは現職教育主任+道徳推進教師+特活主任+研タ主任+ICT 主任+教務主任+校務主任とする。必要に応じて、適宜実施する。

5 教科主任者会について

メンバーは現職教育主任+教科主任+教務主任とする。必要に応じて、適宜実施する。

6 教科部会について

定期テスト週間に年間4回定例教科部会を設置する。年間計画に位置づけているが、足りなければ教科ごとに実施する。

7 授業公開ウィークについて

年度に1度は指導案を作成・授業公開をし、お互いに学び合う機会を設けるため、7月13日(月)要請訪問、10月19日(月)と1月27日(水)の玉置先生参観 DAY を中心に、前後1週間を授業公開ウィークとする。

令和8年度 現職教育年間計画

日付	内容(詳細については実態に応じて適宜変更します)	担当
4月 6日(月)	教科主任会(現教主任+教務主任+教科主任) 「今年度の現職教育について」	現教主任
7日(火)	全体会「今年度の現職教育について」 教科部会「年度初め部会、副教材選定など」	現教主任 教科主任
9日(木)	教科部会「年度初め部会、副教材選定など」続き	教科主任
14日(火)	全体会「救急法」	保健主事
30日(月) ※水谷先生来校	全体会「今年度の現職教育について実践と検討」 ①講義:授業づくりコーディネーター 水谷先生 ②全体会(今年度の現職教育について実践と検討)	現教主任
5月 18日(月)	全体会「詳細未定」	現教主任
6月 1日(月)	全体会「要請訪問の指導案検討」	現教主任
9日(火)	定例教科部会(授業公開ウィーク指導案検討含む) 授業公開ウィーク 7月6日(月)~7月14日(火)	教科主任
7月 13日(月)	要請訪問(3年英語:角先生 3年社会:森先生)	現教主任
8月 18日(火)	全体会「詳細未定」	未定
9月 2日(水)	「玉置先生参観デー指導案検討」	現教主任
3日(木)	定例教科部会(授業公開ウィーク指導案検討含む)	教科主任
7日(月)	全体会「体育祭に向けてのエアロビ講習会」	体育科
24日(木)	AM:学校訪問 授業公開ウィーク 10月14日(水)~10月28日(水)	
10月 19日(月) ※玉置先生来校	全体会「玉置先生参観デー」 ①代表者公開授業 ②全体会(指導:玉置先生)	現教主任
11月 10日(水)	定例教科部会(授業公開ウィーク指導案検討含む)	教科主任
12月 17日(木)	「玉置先生参観デーの指導案検討」(生徒代表者会の裏)	現教主任
26日(火)	定例教科部会 授業公開ウィーク 1月12日(火)~1月27日(水)	教科主任
27日(水) ※玉置先生来校	全体会「玉置先生参観デー」 ①代表者公開授業 ②全体会(指導:玉置先生)	現教主任
2月 4日(木)	全体会「R9年度に向けて」	現教主任